

事例発表①「那賀町における地域包括ケアシステムの構築」

那賀町地域包括支援センター 湯浅雅志

本フォーラムにおいて、那賀町における地域包括ケアシステムとして、地域ケア会議の活用並びにICT共有体制の構築について報告した。

平成17年の町村合併に伴い広大で集落が点在し社会資源の少ない那賀町において、旧町村単位での多職種で個別の事例を検討する各支所ケア会議（個別の地域ケア会議）から町全体での地域課題を検討する健康福祉検討会（地域ケア推進会議）の体制を構築することにより、個別課題の抽出から地域課題の抽出、政策提言につなげる流れが構築することにより、小回りが利いた質の高い包括ケアができていた。

しかしながら保健、医療、福祉の各分野で広域化集約化が図られ、各支所ケア会議の参加者や開催回数・時間の減少などにより支所ケア会議の質が低下した。

そこでICTを活用し、町内の保健医療福祉の関係者に民間事業所含めてiPadを配布し、相談したい事案が発生した時にクラウドを経由して、リアルタイムで相談できる情報共有ツール「みまもるくんシステム」を導入した。デジタルでリアルタイムに情報共有することで、地域の広大さや専門職の少なさをカバーしその情報を基に、日常の緊密な情報共有と、効率的な会議運営を実現し、節約された時間をケアに充てることで質の向上につながっている。

また、大学等外部組織との良好な関係を築きICT開発「新・みまもるくんシステム」の支援を受けている。

